大阪府立大学　初級フランス語講座

ポッドキャストと行くフランス旅行！

制作：高垣由美・村田京子

第２９課　予約する

Opéra Bastille　バスティーユのオペラ座

(Photo : Ministère des Affaires étrangères - Service photographique)

(À l'accueil d'un hôtel)

A :　Ce soir, on aurait envie d'aller à l'opéra.

B :　À l'Opéra Bastille ? Vous avez réservé ?

A :　Non. Vous pourriez le faire pour nous ?

B :　Ça va être difficile. Vous auriez dû me le demander plus tôt. Mais je vais essayer.

（ホテルの受付で）

A：　今晩，オペラに行きたいのですが.

B：　オペラ・バスチーユですか？予約なさいましたか.

A：　いいえ，私たちの代りに予約していただけますか.

B：　難しいでしょうね．もっと早くにおっしゃってくださるべきでした．でもやってみましょう.

Vocabulaire　語彙

à　前置詞　～へ，～に，～で，～のところで　[場所を示す．]

l' (= le)　[母音字や無声の H で始まる語の前では，定冠詞 la はエリジオンして，l'となり，次の語と続けて書く．]

　le　定冠詞・男　[英語では the に相当する．]

accueil　名詞・男　受付，受け入れ；もてなし

d' (= de) [母音字や無声の H で始まる語の前では，de はエリジオンして d'となり，次の語と続けて書く．]

　de　前置詞　～の　[動詞の不定法の前に置く．]

un　不定冠詞・男　[英語では a, an に相当する]

hôtel　名詞・男　ホテル

ce　指示形容詞・男　この，その，あの

soir　名詞・男　夕方，夜

ce soir：今晩

on　不定代名詞･主語人称代名詞　私たちは，私たちが　[主語人称代名詞 nous の代わりに使う．]

aurait　動詞　(avoir の条件法現在３人称単数形)　[ここでは語調緩和のために条件法になっている．]

envie　名詞・女　欲求，欲望

avoir envie de：　～したい

aller　動詞　行く　[活用は第１３課参照]

opéra　名詞・男　オペラ，歌劇；オペラ劇場，オペラ・ハウス

Opéra Bastille　固有名詞　オペラ・バスチーユ（パリのバスチーユ地区にあるオペラ劇場）

vous　主語人称代名詞　あなた（達）は，あなた（達）が

avez　動詞　(avoir の直説法現在２人称複数形)

　avoir　動詞　[<avoir＋過去分詞>で助動詞として使われ，複合時制をつくる．本来の「持っている」という意味はない．]

réservé　動詞　(réserver の過去分詞)

　réserver　動詞　予約する

non　副詞　いいえ，いや　[否定の答え]

pourriez　動詞　(pouvoir の条件法現在２人称複数形)　[ここでは婉曲な依頼のために条件法になっている．]

　pouvoir　動詞　～できる　[活用は第９課参照]

Vous pourriez…：…していただけますでしょうか．　[丁寧な依頼の表現]

le 中性代名詞 そのこと [前の文脈に出てきた文やそれに相当する内容を受ける. ここでは, 前文にでてきた「予約すること」を指す. 中性代名詞については第１８課参照]

faire 動詞 する [活用は第１課参照]

pour 前置詞 ～のために, ～向けの

nous 人称代名詞強勢形 私たち

ça 指示代名詞 それ, あれ, これ [ここでは, 前の文脈で出てきた「予約すること」を指す.]

va 動詞 (aller の直説法現在３人称単数形)

aller 動詞 [ここでは本来の「行く」という意味はなく, 近い未来を表す語として使われている. 活用は第１３課参照]

être 動詞 ～である

difficile 形容詞 難しい

auriez 動詞 (avoir の条件法２人称複数形) [ここでは語調緩和のために条件法になっている.]

dû 動詞 (devoir の過去分詞男性単数形) [過去分詞の男性単数形は dû, 男性複数形は dus, 女性単数形は due, 女性複数形は dues と, 特殊な形になることに注意.]

devoir 動詞 ～しなければならない [義務を表す. 活用は第１２課参照]

Vous auriez dû… : …するべきだったのに（実際にはしなかった.） [条件法過去. 非難を表す.]

me 間接目的補語人称代名詞 私に

demander 動詞 (à + <人> + de + <動詞の不定法>) （人に…を）頼む

plus 副詞 （～よりも）よりいっそう, もっと [比較を表す.]

tôt 副詞 早く

mais 接続詞 しかし, でも

je 主語人称代名詞 私は, 私が

vais 動詞 (aller の直説法現在１人称単数形) [ここでは本来の「行く」という意味はなく, 近い未来を表す語として使われている.

essayer 動詞 ためす, 試みる [活用は payer と同じ. 第１４課参照]

OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

大阪府立大学　初級フランス語講座

ポッドキャストと行くフランス旅行！　解説編 ver.1

執筆：高垣由美

校閲：村田京子

Aspects culturels　文化的側面

パリの２つのオペラ座

パリには新旧２つのオペラ座があります．

１９世紀に立てられた le Palais Garnier と，1990 年にオープンした l'Opéra Bastille です．

それぞれが建設当時の特徴を表した建築となっており，建物を見るだけでも価値があります．

現在，ガルニエはバレエを中心に，バスティーユはオペラを中心に上演を行っています．

Le Palais Garnier　（パリの旧）オペラ座

(Photo : http://www.photolibrary.jp/profile/artist_3038_1.html)

Grammaire　文法

１）目的補語の語順

§1　直接目的補語と間接目的補語を同時に使う場合の語順は

１人称／２人称間接{me, te, nous, vous} ＋３人称直接{le, la, les}

もしくは

３人称直接{le, la, les} ＋ ３人称間接{lui, leur}

しかありません．

Vous auriez dû **me le** demander plus tôt.

もっと早くに<u>私にそれを</u>依頼してくださるべきでした．

Vous auriez dû **le lui** demander plus tôt.

もっと早くに<u>それを彼に</u>依頼なさるべきでした．

つまり以下の語順に固定されているので，まずは次の赤字と青字の部分を，このまま何度も口で唱えて暗記しましょう．

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません．

彼は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿与える.

Il ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ donne.

に（間接目的補語）＋を（直接目的補語）

me	le	私にそれを
me	la	私にそれを
me	les	私にそれらを
te	le	君にそれを
te	la	君にそれを
te	les	君にそれらを
nous	le	私達にそれを
nous	la	私達にそれを
nous	les	私達にそれらを
vous	le	あなた（達）にそれを
vous	la	あなた（達）にそれを
vous	les	あなた（達）にそれらを

を（直接目的補語）＋に（間接目的補語）

le	lui	それを彼（女）に
la	lui	それを彼（女）に
les	lui	それらを彼（女）に
le	leur	それを彼（女）達に
la	leur	それを彼（女）達に
les	leur	それらを彼（女）達に

肯定命令文の場合は動詞 ＋ 直接目的補語 ＋ 間接目的補語

Passez-moi le sel, s'il vous plaît. （私に塩を回してください．[食事の時に]）

→ Passez-**le**-moi, s'il vous plaît.

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません．

練習問題 1　直接目的補語代名詞と間接目的補語代名詞の両方を使って書き換えましょう．下線部を代名詞にしてください．

1) Vous me passez le poivre.　私に胡椒を回してください．
2) Un agent de police lui a demandé ses papiers.　警官が彼女に身分証明書の提示を求めた．
3) Jean-Yves t'a offert ce bouquet de fleurs.　ジャン・イヴが君にこの花束をくれた．
4) Cet enfant ne montre pas le résultat des examens à ses parents.　この子は両親に試験の成績を見せない．
5) Je vais vous donner mon adresse.　あなたに私の住所をお渡しします．
6) Je ne veux pas te prêter mon dictionnaire.　私は君に自分の辞書を貸したくない．

解答はこの課の最後に

Nuit celtique (Saint-Patrick) : musiciens　ケルトの夕べ：演奏する人々

(Photo : Ministère des Affaires étrangères - Service photographique)

２）条件法過去

§1　形

助動詞（avoir または être の条件法現在）＋ 過去分詞で作ります。

chanter

j'aurais chanté	nous aurions chanté
tu aurais chanté	vous auriez chanté
il aurait chanté	ils auraient chanté
elle aurait chanté	elles auraient chanté

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません．

arriver

je serais arrivé(e)	nous serions arrivés(e)
tu serais arrivé(e)	vous seriez arrivé(e)(s)
il serait arrivé	ils seraient arrivés
elle serait arrivée	elles seraient arrivées

§2　用法

１）過去における非現実

条件法現在（第２７課参照）が，現在の事実を離れた想定を表すのに対して，条件法過去は，過去の事実を離れた想定を表します．以下の例で太字の部分です．英語の仮定法過去に相当します．

Sans toi, je n'**aurais** jamais **accompli** mon dessein.

君がいなければ，私は決して自分の計画を実現できなかったでしょうに．

（君がいたおかげで，実現できた．）

「もし〜だったなら…だったろうに」という形の，過去の仮定の条件を表す si 節の中の動詞は，大過去（第２２課参照）にします．過去の事実とは異なった事態の仮定を大過去で表し，そこから見たら未来はこうであったろうに，実際は違ったという部分を条件法過去で表します．

Si nous avions su, nous **serions partis** plus tôt.

もし知っていたら，もっと早く出発していたでしょうに．

（知らなかったから，早く出発しなかった．）

Si la Chine était restée un pays pauvre, elle n'**aurait** jamais **pu** être respectée à l'étranger.

もし中国が貧しい国のままであったならば，決して外国で尊敬され得なかったでしょうに．

練習問題 2　（　　）内の動詞を条件法過去に，[　　]内の動詞を大過去にしましょう．

1) S'il [fait] beau, elles (partir).　　天気が良かったら、彼女たちは出発していたのですが．

2) Si tu ne la [aider] pas, elle ne (finir) pas son travail.

君が彼女を助けなかったならば，彼女は決して自分の仕事を終えなかっただろうに．

3) Avec un peu plus de tolérance, ils ne (se disputer) pas.

もう少し寛大さがあったら，彼らは喧嘩していなかっただろうに．

解答はこの課の最後に

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません．

過去の仮定（大過去）に，現在の帰結（条件法現在）を組み合わせることもできます.

Si les dinosaures avaient survécu, il y a soixante-cinq millions d'années, les hommes n'existeraient peut-être pas.

もし恐竜が 6500 万年前に生きのびていたならば, 人類はおそらく存在していないでしょう.

２）婉曲な表現

語調の緩和

Vous **auriez dû** me le demander plus tôt.　もっと早く私にそれを頼むべきだった.

断定を避けた話者の推測

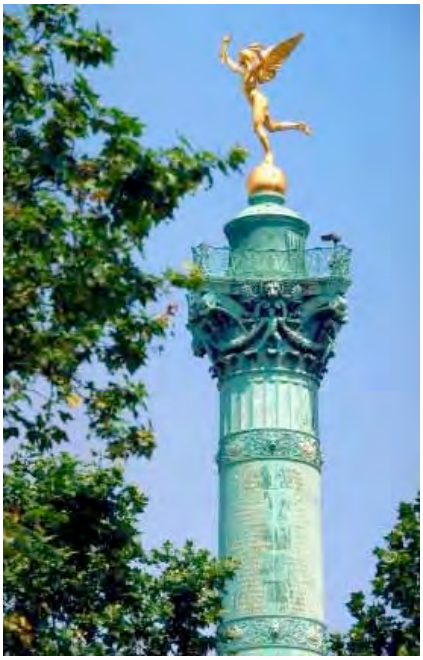
Ce matin, deux femmes ont été trouvées mortes dans leur logement. D'après l'enquête de la police, elles **auraient été** empoisonnées à l'arsenic.

今朝，二人の女性が自宅で死亡しているのが発見された.

警察の捜査によると，ヒ素で毒殺されたようである.

３）過去を起点として見た未来

従属節において，過去を起点として見た前未来（未来完了）を表します．次の「話法と時制の一致」の項目を参照.



colonne de la place de la Bastille　バスティーユ広場にある記念柱

(Photo : Ministère des Affaires étrangères - Service photographique)

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません.

３）話法と時制の一致

他人の発言内容を発言したとおりの言葉のまま，括弧付き（日本語では「」，フランス語では « »）で引用する方法を直接話法といいます．

Il dit : « Je suis malade. ».　　彼は「ぼくは病気だ．」と言っている．

他人の発言内容を自分の言葉の一部として，従属節の中で伝える方法を間接話法といいます．

Il dit qu'il est malade.　　彼は自分は病気だと言っている．

直接話法から間接話法に書き換える時に，以下の点に注意しましょう．

１）発言内容が命令文の時は，de＋動詞の不定法

Il m'a dit : « Monte dans le train ! »　→　Il m'a dit **de** monter dans le train.

彼は「列車に乗れ！」と私に言った．　　彼は列車に乗るようにと私に言った．

Il m'a dit : « Ne monte pas dans le train ! »→Il m'a dit **de ne pas** monter dans le train.

彼は「列車に乗るな！」と私に言った．　　彼は列車に乗らないようにと私に言った．

[ne pas の語順に注意]

２）従属節の中で人称が変化することがあります．

上の２例で：　je ぼくは　→　il 彼は

３）時や場所を表すいくつかの言葉が変化します，

ici　ここ	→	là　そこ
maintenant　今	→	alors　その時
hier　昨日	→	la veille　前日
aujourd'hui　今日	→	ce jour-là　その日
demain　明日	→	le lendemain　翌日
après-demain　明後日	→	le surlendemain　翌々日
ce matin　今朝	→	ce matin-là　その日の朝
le mois prochain　来月	→	le mois suivant　翌月
l'an dernier / l'année dernière　去年	→	l'an précédent / l'année précédente 前年
dans trois heures　３時間後に	→	trois heures plus tard　３時間のちに

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません．

４）主文の動詞が過去の時，従属節の中の動詞は時制の一致をします，

直説法現在→半過去：

Il m'a dit : « Elle est malade. »　→　Il m'a dit **qu'**elle **était** malade.

彼は「彼女は病気だ．」と言った．　彼は彼女は病気だと言った．

複合過去→大過去：

Il m'a dit : « J'ai fermé la fenêtre. »　→ Il m'a dit **qu'il avait fermé** la fenêtre.

彼は「僕は窓をしめた．」と言った．　彼は自分は窓をしめたと言った．

単純未来→条件法現在：

Il m'a dit : « Elle sera malade. »　→ Il m'a dit **qu'**elle **serait** malade.

彼は「彼女は病気になるだろう．」と言った．彼は彼女は病気になるだろうと言った．

前未来→条件法過去：

Il m'a dit : « J'aurai fini mes devoirs à midi. »

彼は「僕は正午には宿題を終えてしまっているだろう．」と言った．

→　Il m'a dit **qu'il aurait fini ses** devoirs à midi.

彼は自分は正午には宿題を終えてしまっているだろうと言った．

ただし間接話法の内容が，時間に関わりのない真実を表す場合は，主節の時制にかかわりなく現在形を使います．

Galilée a dit que la Terre tourne autour du Soleil.

ガリレオは，地球は太陽の周りを回っていると言った．

Région Poitou-Charente : reconstitution de la bataille de Noauillé-Maupertuis entre la France et l'Angleterre pendant la guerre de Cent ans (département de la Vienne) 百年戦争当時の戦闘の再現

(Photo : Ministère des Affaires étrangères - Service photographique)

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません．

練習問題 3　直接話法を間接話法に書き換えましょう.

1) Elle a dit : « Je suis occupée aujourd'hui. »　彼女は「今日は忙しいです.」と言った.

2) Elle m'a dit : « Je sortirai avec toi demain. »
彼女は「私はあんたと明日出かけるわ.」と私に言った.

3) Il m'a dit : « N'oubliez pas mon nom ! »　彼は私に「俺の名前を忘れるな.」と言った.

4) Il m'a demandé : « Où est-ce que tu a laissé ton message ? »
彼は私に「どこに君のメッセージを残したの？」と尋ねた.

5) La sorcière lui a prédit : « Vous aurez réalisé votre rêve à 30 ans. »
魔女は彼女に「あなたは３０歳であなたの夢を実現しているでしょう.」と予言した.

解答はこの課の最後に

Expressions utiles　役に立つ表現

非難する

Vous auriez dû…（…すべきだったでしょうに.）, Vous auriez pu…（…できたでしょうに.）と，実際には実現しなかった行為について，条件法過去を使って非難することができます.

Vous auriez dû nous aider.	私たちを助けてくださるべきでした.
Tu aurais pu venir un peu plus tôt.	もう少し早く来られたでしょうに.

謝る・許す（２）

Je ne sais comment m'excuser.	どう謝っていいかわかりません.

[savoir は間接疑問文を導く場合，否定で pas を省略できます.]

Pardonnez-moi de vous avoir dérangé.	おじゃましてどうもすみませんでした.
Je suis désolé de vous avoir fait attendre.	お待たせして申し訳ありませんでした.

Ça ne fait rien.	かまいません.
Je ne vous en veux pas.	恨んでませんよ.
N'en parlons plus.	もうそのことは言わないことにしましょう.
Vous êtes tout pardonné.	いいんですよ.

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません.

Lire　読む

１）オペラ座について

練習問題 4　オペラ座についての文章を読みましょう．選択肢の中から適当な語句を選び，必要に応じて適当な形に直して(　　)内に入れてください．

選択肢　: achat　normalement　se terminer

Quelques conseils pour passer une bonne soirée à l'Opéra

Vous pouvez acheter les programmes et faire des (　1　) dans les boutiques.
L'opéra commence (　2　) à 19h30, parfois plus tôt (19h, 18h ou 17h30) et (　3　) entre 22h et 23h.

日本語訳と解答はこの課の最後に

２）オペラの予約をする

練習問題 5　オペラの予約の仕方についての文章を読み，以下の問いに答えてください．

問い１）日本から電話予約する時にかける番号は

（１）0 892 89 90 90　（２）33 1 72 29 35 35

問い２）**Vrai ou Faux ?** この文章によると，以下の記述は正しいでしょうか．

（１）電話予約はオペレーターを通す．

（２）窓口でしか買えない席がある．

（３）オペラ・バスティーユには当日券がないことがある．

Comment réserver ?

• par Internet, rubrique les spectacles en vente
• au téléphone avec un opérateur en appelant le 0 892 89 90 90 (0,34€ la minute) tous les jours de 9h à 18h et le samedi de 9h à 13h ou le +33 1 72 29 35 35 depuis l'étranger.
• en vous rendant aux guichets du Palais Garnier, place de l'Opéra, et de l'Opéra Bastille, 130, rue de Lyon tous les jours de 10h30 à 18h30, sauf les dimanche et jours fériés.

Les places de 5e, 6e et 7e catégories au Palais Garnier et les places de 7e et 8e catégories à l'Opéra Bastille ne sont vendues qu'au guichet. Les places de 9e catégorie (debout) à l'Opéra Bastille sont vendues dès l'ouverture des portes, soit environ 1h30 avant le lever de rideau.

日本語訳と解答はこの課の最後に

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません．

練習問題解答

練習問題1

1) Vous me le passez.

2) Un agent de police les lui a demandé**s**.　[過去分詞の一致は第２４課参照]

3) Jean-Yves **te l'**a offert.　　4) Cet enfant ne le leur montre pas.

5) Je vais vous la donner.　　6) Je ne veux pas te le prêter.

練習問題 2

1) S'il avait fait beau, elles seraient parties.

2) Si tu ne l'avais pas aidé**e**, elle n'aurait pas fini son travail.

3) Avec un peu plus de tolérance, ils ne se seraient pas disputé**s**.

練習問題 3

1) Elle a dit **qu'**elle **était** occupée **ce jour-là**.　　彼女はその日は忙しいと言った.

2) Elle m'a dit **qu'elle sortirait** avec **moi le lendemain**.

彼女は自分は私と翌日出かけると私に言った.

3) Il m'a dit **de ne pas oublier son** nom. 彼は私に自分の名前を忘れないようにと言った.

4) Il m'a demandé où **j'avais** laissé **mon** message.

彼は私にどこに私のメッセージを残したのかと尋ねた.

5) La sorcière lui a prédit **qu'elle aurait** réalisé **son** rêve à 30 ans.

魔女は彼女に，彼女は３０歳で自分の夢を実現していると予言した.

musique　音楽

(Photo : Ministère des Affaires étrangères - Service photographique)

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません.

練習問題 4

1. achat**s**　2. normalement　3. se termin**e**

[日本語訳]　　オペラ座で楽しいタベをすごすコツ

プログラムの購入や買い物は売店でできます.

オペラは通常１９時３０分に始まります．時にはそれより早く（１９時，１８時，１７時３０分）始まることもあります．終わるのは２２時から２３時の間です.

練習問題 5

問い１）（２）33 1 72 29 35 35

問い２）　（１）電話予約はオペレーターを通す.　Vrai 正しい

（２）窓口でしか買えない席がある.　Vrai 正しい

（３）オペラ・バスティーユには当日券がないことがある．Faux 間違い

[日本語訳]

予約方法

・インターネットで．販売中の公演の欄で

・オペレーターを通した電話で．毎日９時から１８時まで，土曜日は９時から１３時まで 0 892 89 90 90 にかける（1 分につき，0.34 ユーロ課金）．外国からは 33 1 72 29 35 35 に.

・窓口に行って．ガルニエ座の住所は place de l'Opéra．オペラ・バスティーユの住所は 130, rue de Lyon．日曜祝日をのぞく毎日１０時３０分から１８時３０分まで.

　ガルニエ座のカテゴリー５，６，７の席と，オペラ・バスティーユのカテゴリー７，８の席は，窓口でのみ販売しています．オペラ・バスティーユのカテゴリー９の席（立ち席）は，会場と同時（開幕の約１時間３０分前）に販売されます.

Cité de la Musique, La Villette (Paris)　音楽都市，ラ・ヴィレット地区（パリ）

(Photo : Ministère des Affaires étrangères - Service photographique)

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません.

本教材は大阪府立大学総合教育研究機構の「プロジェクト型研究支援事業」の「研究課題：ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・英語の音声教材のポッドキャストによるインターネット配信」の一部として作成されました.

Opéra Bernard à Lille　リールのオペラ・ベルナール

(Photo : Ministère des Affaires étrangères - Service photographique)

この講座の web ページ

http://www.las.osakafu-u.ac.jp/podcast-lang/fr/travel/index.html

iTunes にこの講座のポッドキャストを登録するための URL

http://www.las.osakafu-u.ac.jp/podcast-lang/fr/travel/rss.xml

この講座のブログ

【パソコン用のURL】　http://www.las.osakafu-u.ac.jp/podcast-lang/cgi-bin/fr/sb.cgi

【携帯電話用の URL】　http://www.las.osakafu-u.ac.jp/podcast-lang/cgi-bin/fr/mb.cgi

携帯電話用のものは日本語の文字コードを使いますので、アクサン付きのアルファベットなど，日本語の文字コードに含まれない文字は文字化けします.

OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成１８年度プロジェクト型研究費によって制作されました．教育目的では無償で使用することができますが，執筆者高垣由美の許諾無しに内容を改変したものを配布すること，及びこの教材を販売・出版をすることはできません.